



三郷中学校 校長通信
No.20 令和4年7月20日
文責：森 本 徹

県総体に向けて

明日から夏休みです。夏休みに入ると（すでに始まっている種目もありますが）、県総体やコンクールが始まります。3年生にとっては最後の公式戦ですし、チームとしてもこの1年間の成果が問われる大会です。出場する人はもちろんですが、出場しない人にとっても大切な大会であることを意識して臨んでほしいと思っています。以下の文は去年の「ひびき」に掲載したものです。長文ですが、ぜひ読んでみてください。とある大学のラグビー部の話です。通称「もりもり」と呼ばれている「盛り上げ練習」があります。100人以上いるメンバーの中からベンチ入りができるのは15人のスタメンと6人の補欠合わせて21人。中には四年間、必死で練習したにも関わらず公式戦に一度も出ないで引退という選手もいます。最後の試合の前にメンバーが決まるとそのメンバーから外れた選手には、もうどれほど練習しても試合に出るチャンスはありません。試合の前日、ベンチ入りのAチームは軽めの練習で終わりですが、そのあと残りの80名の選手が気力・体力の続く限り練習をするそうです。それが「盛り上げ練習」。ヘトヘトになり、血だらけになりながら、夜の11時頃まで続くその練習を、翌日試合を控えたAチームは涙を流しながら見ているそうです。もう試合に出ることはできないとわかった選手が見せるその鬼気迫る練習が明日試合という選手たちの「全力」を引き出す。「出られないメンバーのために」という思いに火がつく。翌日の試合後、Aチームもベンチから外れた選手たちもこう言うそうです。「一緒に戦った」。

選ばれた人だけががんばる集団と選ばれなかった人までがんばる集団。スポーツでも仕事でも、チームの中でメンバーに選ばれなかった瞬間に「自分には関係ない」と思ってしまう人がいます。でもこの話は、どんなときでも自分にできることは無限にあるということを教えてください。中学生のみなさんもこれからの人生の中で良く似た経験をしたいと思います。特に3年生は、県総体やコンクールなどで、キミたちの行動一つひとつが、必ずチームの雰囲気を作ります。「これが最後だ」となる瞬間に、まだまだできることはある。やることはある。できることを探して、自ら行動して、ぜひ、チームの雰囲気を作ってください。きっと、メンバーがお返しをしてくれるはずです。「メンバー外のおかげで勝てた」「ありがとう」と言われる雰囲気を作っていきましょう。

夏休み

夏休みは学校での生活から離れて、家で過ごす時間が増えます。当然、自由に使える時間が増えます。中学生はその時間を自分で管理することが求められます。その自覚をもって生活をしましょう。基本は規則正しい生活習慣です。昔から言われている「早寝早起き」は体調管理の点でとても大切な要素です。どれだけ技術革新が進んで生活環境が便利になっても、人間の身体は昔と変わっていないのですから当然ですね。この夏も熱中症対策と新型コロナウイルス感染症対策の両方が求められます。どちらも基本的な対策はこれまでどおりです。**有**意義な夏休みにしてください。9月1日に成長した元気な姿を見せてくれるのを楽しみにしています。